

「ファミリーパークだて」オープン



「ファミリーパークだて」のオープンセレモニー バルーンタワーと開場式の様子

3月29日に伊達駅の近くにオープンした「ファミリーパークだて」は連日子ども達で賑わっています。伊達市の趣旨と伊達西地区の皆さんとで意見を出し合い、「豊かな感性の醸成と心も体も健康な子どもを安心して育むことができる施設(ひろば)」をめざして完成した屋内運動場です。NPO法人伊達西地区自治協議会が管理運営を委託されています。「ファミリーパークだて」の特徴は「ママカフェ」があり、親同士のコミュニケーションやイベントにも活用され、飲食が可能なお店です。(休日は金曜日)

連日 元気に遊ぶ子ども達

利用対象者は小学生以下の子どもの保護者。小学4～6年生は保護者の同伴なしで利用できるが利用者登録カードの提示が必要。同様な施設は、梁川の「パレオパークやながわ」(休日は木曜日、保原に「スマイルパークほばら」(休日は水曜日)、霊山に「ちびっこひろば」(休日は火曜日)があります。いずれも震災による原発事故から復興の願いの一つである子ども達の健康で健やかな成長を保証する運動場として整備されたものです。連日賑わっており、子育て支援の一助になれば幸いです。

NPO法人に改組しました
伊達西地区自治協議会は、平成30年3月2日、「NPO法人伊達西地区自治協議会」として法人登記を行った。私たちは、「伊達屋内運動場」建設に当たって、町内会代表の方をはじめ、地域の方々とワークショップを行い、同運動場の基本コンセプトづくりに関与する機会を得ることが出来た。昨年12月、同運動場の業務委託プロポーザルに参加できる条件は「法人格」を持つ団体であることが公表された。そこで、自治協議会には、プロポーザルに参加する可否について協議した。その結果、地域の思いが具現化された施設を地域の方々を中心になって運営する意義、また、これまで業務委託を受けて運営してきた伊達中央交流館が近い将来指定管理者制度に移行する可能性を勘案して、伊達西地区自治協議会を発展的に改組してNPO法人の資格を取得することは、これまでの活動をさらに定着・推進させるために意義あることと判断した。

「自治協だより」次号予告 6月中旬発行予定(NPO法人に改組・「ファミリーパークだて」)

NPO法人
伊達西地区

自治協だより

第17号

発行・編集
NPO法人
伊達西地区自治協議会
発行責任者
会長 小野孝雄

講座の足跡を紹介します

- 1面 「ファミリーパークだて」オープン
 - 2面 蔵王キャンブ・国立博物館・上野動物園・しゃべり場
 - 3面 被災地復興支援バスツアー・野鳥観察・巣箱づくり
 - 4面 おらが町内会「駅」
- この道ひとすじ「野草の会」野草に魅せられて

シリーズ おらが町内会 第17回 駅

「駅」町内会のエリア

我が駅一町内会は、長岡天王例大祭の前夜祭が行われる駅前広場の付近で伊達駅の北東部に位置した、一三八世帯が会員です。

駅一町内会周辺の変化

このところ、伊達市では新しく道路や施設の建設・オープンが相次いであります。国道399号線改修工事・認定こども園・道の駅伊達の里りょうぜんのオープン・高速道路ICやJCTの建設工事など、皆様もすでに目にされたり、利用されたりしていることと思います。

変わりゆく地域環境

冒頭記載したとおり、伊達市の急速な移ろいは、伊達駅前でも始まっており、今年度より、平成31年度にかけ伊達駅前広場の整備事業が始まり



伊達駅前整備の様子

ました。車と歩行者が分離されていない駅前の駐車スペースでしたが、安全性の配慮からロータリーの建設、バスの運行、駐車場の整備がされるそうです。



楽しいママカフェ

この施設は小学生以下の子ども達の屋内運動場です。居心地のいいママカフェもあり、保護者の皆様も子どもやママ友といっしょにランチをしたり読書をしたりもできます。場内はソフトシートが敷かれている他、子ども達が安全に楽しく遊べる工夫が盛り込まれています。

少子高齢化が進む現在ですが、こうした環境の変化は私たちの生活に安心・安全・便利をもたらすこととなるでしょう。

(町内会長 柳川隆秀)

ファミリーパークだての開園

この道一筋「野草と40年」

伊達野草会 鈴木 長久さん(根田)

『最初はサツキで、30才頃でした。サツキは、消毒、植え替え、剪定が大変で、花の時期に花が咲かない年もある。そんな頃、野草の展示会を見る機会があり、山野草を始めるきっかけに。そして、『その2、3年後伊達にも野草会をと、誘われ、その年に伊達山野草が発足し、春と秋の二回の展示会が励みになり、続けてきました。』

雪割草▶



▲野草がいっぱいの庭

さらに、他の展示会や野草店を巡り、花や野草を集め増やし続け、会としても20年位前に雪割草、さらに斑入植物展も加え、現在は年4回の展示会を行っている。『次回も見に来たいと言われるよう頑張っています。』と熱く語っていただきました。

編集後記

今期は西地区内での充実した活動が展開されました。同時に西地区を支える周辺地域をバスを仕立て巡りました。地区のうねりを感じます。

(Y)

大人の社会科見学 被災地復興支援バスツアー

第1回 10月21日(土)



震災を伝える大川小の前で語りかける鈴木さん



第2回 12月2日(土)



避難場所になれなかったすぐ側の杉林



石ノ森萬画館をバックに



マヒワ

- ① 10月21日(土)
② 12月2日(土)
③ 12月16日(土)

石巻市への復興支援バスツアーは参加希望者が殺到し、3回実施しました。
3回とも大川伝承の会の鈴木典行さんにお話を伺いましたが涙なくしては聞くことができませんでした。鈴木さんは娘さんを亡くしていますが、どうしてこのような惨事になったのか、真実を知りたいと語りかけております。私たちはこの教訓を絶対に生かしたいと強く感じました。



第3回 12月16日(土)



津波の凄さを伝える校舎

上 裏山
下 津波の襲来時刻

住宅の混在地だったが、今は何もない復興看板前(石巻市)

冬鳥観察・巣箱づくり

○冬の野鳥観察会1月20日(土)
福島市小島の森で、レンジャーの細井さんのお話の後に、小島の森で実際にいっばい小鳥を観察しました。

○2月3日(土)伊達中央交流館で福島市小島の森レンジャー細井さんのお話の後に、巣箱を作りました。春、小鳥が巣箱に入るよう願って。

・・・事業の足跡をご紹介します・・・

子どもチャレンジ教室



挑戦・協力の連続 沢登り 上 イワナ



お釜の色は忘れません

8月25・4日、南蔵王キャンプ場で、伊達の子とも達と桑折の子とも達、30名で合同のキャンプを実施しました。毎食の炊飯、お釜を眺めながらの熊野岳登山、腰までつかれることもある沢登りとイワナつかみ、みんなで励まし合いながら活動することができました。桑折の友達と握手をして『また来年な!』と声かけ合う姿は美しいものでした。

伊達・桑折合同キャンプ2泊3日

国立科学博物館と上野動物園見学

上 入り口のシロナガスクジラ
左 パンダ
右 係員からアンモナイトの説明を聞く

10月7日(土)児童20名とスタッフ4名、新幹線を利用して見学学習をしました。午前中は科学博物館、午後は動物園を見学。興味深いものであふれていました。パンダの赤ちゃんを見てみたいですね。

地域愛を語り合う「しゃべり場」

第1回



「伊達地区の現状」をスクリーンで写し、話題にしました



第3回



第2回

ホワイエに、話の花が咲いた



熱く語る須田市長

毎回盛況で、第3回は伊達市長須田博行様が参加してくださり、今後の西地区や市全体の動向を聞いていとお話していただきました。①8月9日(水)②10月18日(水)③3月20日(火)